

「入間市歯と口腔の健康づくり基本計画」に対するご意見と対応

ページ	項目名	ご意見	対応
全体	全体	この基本計画・報告書はどのような人が読み、どのように活用されることを想定期待しているのか。 ※前回のキャッチフレーズやコラムがなくなったのはなぜか。 ※各ステージの課題や個人・地域・市等の取り組みが明記されなくなったのはなぜか。	この報告書は、「入間市歯と口腔の健康づくり基本計画」を延長するにあたり5年間の取り組みと評価についての報告書となります。また、今後は、取り組み内容について関係機関や関係各課へ発信、周知するために活用します。 キャッチフレーズ、コラム、各ステージの課題や個人・地域等の取り組みについては、そのまま踏襲されるため明記していません。
全体	各ステージの内容	「1. 目標値の現状と新たな目標値」の中には、達成度に対する考察（原因・理由）が必要なのではないか。	考察を追加記載します。
全体	各ステージの内容	項目が「1」だけで、「2これまでの取り組みと今後の取り組み」の項目が必要ではないか。	表記については、見直します。
全体	各ステージの内容	「今後の取り組み」の内容、記述が全体的に抽象的で方法、手段等の具体的内容がないように思います。	「入間市歯と口腔の健康づくり基本計画」を踏襲し、今回の様な内容としました。
9	「中学生」学校の歯科検診で指摘されたこと	むし歯が51.8%となっています。どのような状況なのか。2019.8.19の「日本教育新聞」に「石川県内4割の学校に『口腔崩壊』」の記事が載っている。入間市の中学校はどうなっているのか。	「入間市歯と口腔の健康づくり実態調査」では、51.8%でした。これは、「お子さんが、学校の歯科健診で次のことを指摘されたことがありますか」という設問に対し、過去の歯科健診も含め指摘された経験と捉えた可能性もあると考えます。次回は、設問の内容を再考します。 令和元年の学校歯科健康診断の結果、「むし歯のある者の人数割合」は、34.5%という状況でした。

			「口腔崩壊」については、入間市学校歯科健康診断結果において「未処置歯を8本以上保有する人数」は、中学生3608人のうち、16人が該当しており、割合は0.4%でした。
11	歯や口のこと で気になること	グラフ上から3段目で「朝、口の中が粘る、口臭、歯が長く見える、歯ぐきがむずがゆい、噛むと痛い、歯ぐきから膿が出る、歯がぐらつく」が1つのまとまりになっていますが、同じ病気からくる症状なのかも知れませんが、分かりづらい気がします（症状が多く、まとまりが無い）。	歯周病（初期から重度まで）に該当する項目を列記しております。いずれかの項目に該当した場合、「歯周病を有する人」としていません。国と比較するため、前回、同様の項目となっております。
14	歯の本数	グラフの数字がどの部分なのか分かりにくい。特に14ページの上のグラフの1段目のグラフの右端0.0.0に見える。	見やすくなるよう工夫をします。
15	「これまでの取り組み」 「今後の取り組み」	「フレイル対策基準該当者」は、注釈か説明が必要ではないか。「フレイルの予防」も同じ。	「フレイルとは」「フレイル対策基準該当者」についての説明を記載します。